

若手作家が熱意を込めて制作した作品の魅力に触れる

本市は、セメントに代表されるように古くから窯業と深い関わりがあり、その窯業のひとつである「ガラス」をコンセプトにしたまちづくりに取り組んでいます。平成13年から始まったこの公募展は、3年に1度開催し、若手ガラス作家の登竜門的コンペティションとして評価が高まっています。

今回の「第8回現代ガラス展 in 山陽小野田」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた展覧会を中止し、現代ガラス展の開催自体も危ぶまれました。しかし、制作活動にも制約のある中で、全国から82点の作品の応募があり、応募作品の審査、賞の決定等を行いました。審査は作品画像による一次審査後、画像や撮影した動画を用いて、二次審査に進んだ38点の中から大賞、優秀賞、市長賞、各審査員賞およびスポンサー賞を決定しました。若手作家が熱意を込めて制作したガラス作品の数々は、市ホームページ等をご覧ください。

〒747-0292 山陽小野田市 園現代ガラス展実行委員会事務局（文化スポーツ推進課内 ☎82-1115）



Weaving Glass-interface-vol.3

佐藤 静恵（石川県）

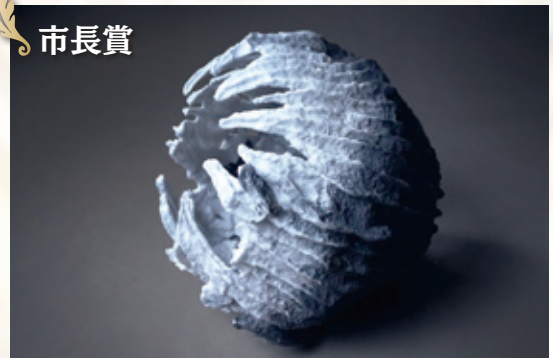
パート・ド・ヴェールの絞り出し技法を用いて制作しています。ガラスのメッシュが、界面に落とされたガラスの自重によって歪み引き伸ばされることで、三次元のフォルムが生まれます。一目一目、線を描き出す行為の蓄積が一つの作品として提示される様は、繰り返される日常を紡いでいく私自身の姿にシンクロしています。自身で見出した、素材の特性に特化した表現を、これからもガラスを通じて探求していきたいです。

【大賞受賞者のコメント】

この度は、大賞に選出していただきありがとうございます。大変光栄です。私の作品が、このような栄誉ある賞をいただいたことで、今までの、またこれからの造形活動に対する取り組みに大きな自信を得ることができました。この受賞を糧にすると同時に、甘んじることなく、これからも自身の目指す素材表現の追求に精進していきたいです。本当にありがとうございました。



出会い 柚木崎 美優（大阪府）



Fascination with Magnification VII
勝川 夏樹（大阪府）